



# ひらどだい

令和2年度 学校だより 1月号 横浜市立平戸台小学校 校長 藤巻 孝之



## 一步一步

副校長 小林 崇

新年 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

2021年、令和3年は丑（うし）年です。

丑年は、牛が田起こしなどの大変な農作業で見せる働きぶりから、「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」というような年になると言われています。結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期とされているようです。このことを調べた私は「先を急ぐのではなく、一步一步着実に物事を進めることが大切」と読み捉えました。

今からちょうど12年前の丑年を迎えた本校学校だより1月号がここにあります。平成21年1月（今の6年生が生まれた頃ですね。）の平戸台小はどんな学校だったのかなと、読み進めていくとこんな内容が記載されていました。

（前略）昨年12月にお願いしましたアンケート「平戸台小の子どもたちに身に付けて欲しい力は？（こんな子になってほしい）」の結果、多かった意見をお知らせします。

- ・礼儀正しい子（挨拶ができる子・ルールを守る子・場に合った言葉遣いができる子）
- ・目標に向かって前向きに粘り強く取り組む子（根気がある子・最後まで諦めない子）
- ・自分の考えをもつ子（自分の行動に責任をもつ子・正しい判断力をもつ子）
- ・思いやりのある子（人の気持ちがわかる子・相手が嫌がることはしない子）
- ・感謝の気持ちを忘れない子（地域の皆さんに愛される子）

〈平成20年度 本校学校だより1月号より抜粋〉

「保護者の皆様と教師の考えはほぼ同じでした。」とも書いてありました。こんな子になって欲しい、という思いは昔も今も変わらないなど、12年前の学校だよりを読みながら改めて考えることができました。そして、12年後も変わっていないのだろうな、とも考えました。

対照的に12年前とは大きく変わっていくこともあります。

「横浜市におけるGIGAスクール構想」に基づくICT教育についてです。本校でも先月からロイロノート・スクールを活用したオンライン通信を試行しています。今はまだ学校と家庭とのやり取りだけですが、来年度には児童一人に対して一台のタブレットが配当され、授業の中で先生と児童、または児童と児童のオンラインでのやり取りが行われるようになるでしょう。タブレットがノートの代わりになり、教科書もデジタル化され…、12年後には想像もつかないような学校形態となっているかもしれません。

新年の初めに十二支をもとに12年前、それから12年後に思いを馳せてみました。

変わらないこと、変わっていくこと、様々ありますが、「先を急ぐのではなく、一步一步着実に物事を進めることが大切」であることは間違いありません。職員一同、気持ちを新たに子どもたちの元気と笑顔を輝かせてまいります。今年も引き続き、本校の教育活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。